

(交通局駅務課)

2 駅の乗降客数だけでなく、福祉施設、病院等の交通弱者の利用が多い駅においても、優先的にホームドアを設置して下さい。

現在、名古屋市交通局では、路線ごとにホーム柵の整備を進めているところです。

今年度は、名城線・名港線の整備を完了する見込みであり、残る鶴舞線については、令和8年(2026年)開催予定の第20回アジア競技大会までに完成する目標で整備を進めます。

(交通局駅務課)

3 ホームドアが設置されていない駅については、駅員や警備員を配置して下さい。またホームドアを設置しているのにまだ稼働していない駅での事故が多発しており、視覚障害者は白杖がホームドアに当たると、稼働していると勘違いすることがあり、設置したら一日も早く稼働させてください。

ホーム柵を整備中の名城線・名港線では、ホーム柵を据付けた後、据付け位置の調整や電気配線の結線等を行い、その後、ホーム柵本体の動作試験や列車を使用した連動試験を行った後、ホーム柵を稼働させております。

また、ホーム柵の据え付け後から稼働させるまでの期間は常時、ホーム柵監視員を配置し、安全確保に努めております。

(交通局駅務課)

4 すべての駅ホームに、音声誘導チャイム設置や内方線付き点状ブロックを敷設して下さい。

島式ホームの駅は、階段部に音声誘導チャイムを整備しております。

相対式ホームの駅につきましては、視覚障害をお持ちの方が音声誘導チャイムの方向に向かった際に軌道内に転落するおそれがあるため、整備しておりません。今後、ホーム柵整備済の駅については、駅リニューアルの機会などをとらえて整備していくことを検討しております。

また、ホーム柵が未整備の鶴舞線については、全駅で内方線付き点字ブロックを整備しております。

(交通局駅務課)

- 6 各駅舎・ホームにてアナウンスにおいて、他の線のアナウンスや、発車ベルなどの音に混ざってしまい、気付きにくいことがあります。また、他の乗客の方に対して、障害者への配慮を促す掲示ならびにアナウンスを適宜行ってください。

ホームのアナウンスが、ホームの自動放送と混ざらないように、引き続き指導を徹底いたします。また、障害者への配慮を促す取り組みとしては、現在、お客さまに対して、ヘルプマークの周知や障害をお持ちの方に一声かけることの協力依頼のポスター等を掲出しており、引き続き啓発に努めるほか、優先席利用マナー等を呼びかけるアナウンスの実施に、引き続き取り組んでまいります。